

令和四年度 博物館講座

遺跡が語る

石巻の先史・古代

全2回

— 講座の概要 —

石巻市博物館が主催する博物館講座は、博物館資料や展示の理解を深め、石巻をフィールドにした調査・研究の成果を周知することを目的にした、教育普及活動です。各分野の調査・研究に取り組んでいる方を講師にお招きすることで、石巻の歴史・文化に対する認識を一層深められる機会になれば幸いです。

今回は、現在「石巻かほく」に「発掘! 古代いしのまき 考古学で読み解く牡鹿地方」を連載している、佐藤敏幸先生を講師にお招きし、石巻の先史・古代に関する全2回の歴史講座を開催します。

佐藤先生は、「展示学術監修アドバイザー」として石巻市博物館の展示工事に携わり、常設展示の先史・古代について様々なご助言をいただきました。ご講演では、博物館の展示内容を踏まえつつ、市内の遺跡や出土遺物の調査・研究成果から明らかになってきたことについてお話いただきます。



— 講師紹介 —

佐藤 敏幸(さとう としゆき) 1963年生まれ
宮城県石巻市(旧河南町)出身・在住。
東北学院大学文学部史学科卒、東北学院大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)
専門は、日本考古学(縄文時代、古墳時代終末期～飛鳥・奈良・平安時代)
日本考古学協会・宮城県考古学会に所属。

河南町教育委員会を経て、東松島市教育委員会、奥松島縄文村歴史資料館学芸員、同館副館長を歴任。現在は、東北学院大学や石巻専修大学の非常勤講師、東北学院大学博物館学芸員。

主要論文:「東北の城柵官衙と土器」(『奈良文化財研究所研究報告』15、2015年、「東北における古代城柵の造営過程—牡鹿柵・牡鹿郡家の造営過程とその背景を中心に—」(『東北文化研究所紀要』53、2021年)など

日時: 令和5年1月22日(日)・2月26日(日) 13時~15時

題目: ① 「^{もり}鋸で捕ったどー! —縄文時代の海の営み—」

② 「^{えみし}桃生・牡鹿の国家拠点—対蝦夷三十八年戦争始まる—」

会場: マルホンまきあーとテラス 大研修室

定員: 先着80人(申し込み不要・参加無料)